

令和 5 年度

足立区公益活動
げんき応援事業助成金
活用事業報告書

足立区 あだち未来支援室
協働・協創推進課 協働・協創推進担当
足立区中央本町1-17-1 TEL：03-3880-5020

この冊子は、令和５年度に「足立区協働・協創パートナー基金」へご寄附いただいた方に送付しております。

協働・協創パートナー基金とは



協働・協創パートナー基金は、皆様からのご寄附と区の財源を積み立て、「足立区公益活動げんき応援事業助成金」として、地域の福祉や教育、食の支援をしているNPO団体等を応援するための基金です。

令和5年度は、3,179,419円のご寄附をいただきました。

足立区公益活動 げんき応援事業助成金とは



協働・協創パートナー基金を活用し、区内の公共性・公益性の高い活動や地域貢献活動の支援、公益団体の活性化と自立・発展を図るために設けられた助成制度です。

令和5年度は以下の4コースになります。

コース名	目 的	上限額・助成回数
げんき応援コース	公益活動の維持・増進および公益活動の活性化等を目的とするコース	・ 10万円まで ・ <u>同一年度2事業まで</u> <u>同一事業3回まで</u>
ステップアップコース	公益活動の促進および発展を図ることを通じて、自立と拡充を目的とするコース	・ 60万円まで ・ <u>同一年度1事業のみ</u> <u>同一事業継続3回まで</u>
課題チャレンジコース	区の提示する課題に取り組む活動の支援を目的とするコース	・ 30万円まで ・ <u>課題ごとに同一年度1事業まで</u>
協働・協創推進コース	団体間の連携を促進し、公益活動の拡大と協創の推進を目的とするコース	・ 100万円まで ・ <u>同一年度1事業のみ</u> <u>同一事業3回まで</u>

助成金を申請できるのは、足立区内を主な活動地域としているNPO法人、一般社団法人、ボランティア団体、町会・自治会などです。

各団体からの申請をもとに事業の公益性などを審査し、採択事業を決定します。

令和5年度活用実績

～35事業（32団体）の地域活動を支援することができました～

NPOナナツホシ



鉄道ミュージアム・牛乳パックで 手で押して走る電車を作ろう

げんき応援コース 助成金額：100,000円

鉄道を通じた子どもたちの居場所づくりとして、親子で参加できる鉄道イベントを年間を通して開催。鉄道模型の運転体験や牛乳パックで電車を作る体験などを実施しました。シアター1010での「あだち鉄道まつり」は1日で2,500人程度、ギャラクシティでの「鉄道ミュージアムスペシャル」では2日間で23,000人程度の参加者がおり、大盛況となりました。



一般社団法人 ほしかぜ



「ほしかぜハロウィン お菓子パントリー」事業

げんき応援コース 助成金額：95,000円

ハロウィンイベントを実施し、400名以上の親子が参加。ゲームをクリアできた子にお菓子を提供することで、子どもたちに楽しさと達成感を感じてもらうことができました。また、仮装して来てもらうことで、いつもとは違う自分を表現できる機会を提供できました。プロの声優による「ライブ・リーディング」も実施。迫力ある声を生で聞く、貴重な体験ができたイベントとなりました。



あだちデザインLABO



職業体験ワークショップ事業

げんき応援コース 助成金額：100,000円

子どもたちが職業体験を通して社会との関わりを学び、将来設計を思い描くことができるように、「チラシデザイン」「ロゴデザイン」「ミニ縁日の店員」の体験事業を実施しました。ミニ縁日開催に向けて、イベント告知チラシ作成や、商品ロゴデザイン作成など、プロの仕事に触れながら体験することに加えて、事業戦略や消費者が望むサービス内容を子どもたちが主体的に考える機会もつくることができました。



足立子ども組織を育てる会

4 第51回足立青空学校・サマーキャンプ

げんき応援コース 助成金額：100,000円

足立区では体験できない、自然に囲まれた場所で、「よく食べ、よく遊び、よく寝る」といった基本的な生活習慣を取り戻すために2泊3日でキャンプを開催。17名が参加し、食事づくりや清掃などの生活面と、川遊びなどの野外活動を通して、仲間とともに経験する大切さや、冒険心、探求心を育むことができました。



足立子ども組織を育てる会

5 さまざまな体験ができる遊び会

げんき応援コース 助成金額：100,000円

毎月1回、区内公園や施設にて、デイキャンプやスポーツ体験、リース作りなどのワークショップ、クリスマス会など、様々な体験会を実施しました。異なる年齢の子どもたちが集いかわりあう中で、子どもたちの自己肯定感を高めることや、達成感を感じてもらうことに寄与しました。親子で参加される方も多く、活動に参加する保護者も増えました。

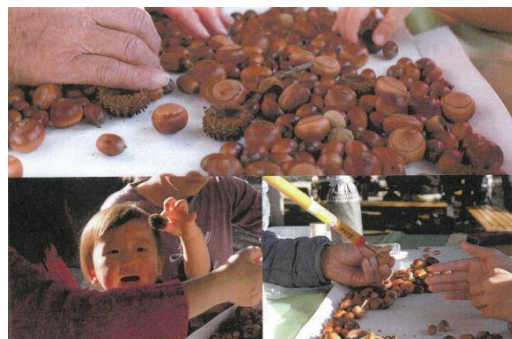


しかはま自然観察会のらえもん

6 子どもたちの夢と希望を育む —身近な自然を通して—

げんき応援コース 助成金額：100,000円

子どもたちが癒され、夢と希望を持って生きる力を養うことを目的に、カイコの育成、押し花遊び、ハゼ釣り、しめ縄づくり、化石探しの旅などの自然とかかわりあう活動を行いました。多くの親子や不登校児童も参加しコミュニケーションをとることで、社会性を身につける場ともなりました。



7 2023年コネクトリンクLab

げんき応援コース 助成金額：100,000円

「子どもの貧困」を家庭の経済的な問題だけでなく、地域での孤立など複合的な課題と捉え、解決や予防に向けた取り組みとして、複数回フォーラムを開催。NPO団体や専門職の方、支援者・当事者の方が参加しました。子どもたちが貧困の連鎖に陥ることなく「生き抜く力」を身につけていくことができる地域社会を共に作るための対話を重ねることができました。



スマイルリンク

8 みんなで作るまつりDeスマイル

げんき応援コース 助成金額：100,000円

地域の子どもたちの夏休みの居場所づくりや多世代交流の場として、「ゼロから作り上げるおまつりイベント」を実施。地域の特別養護老人ホームで、子どもたちと入所者で①料理②和太鼓③プログラミング④髪飾りづくりの4チームに分かれ、おまつりを開催しました。後日、地域の盆踊り大会に子どもたちと入所者が参加。事前に製作した髪飾りを付け、盆踊りを楽しみ交流を図りました。



足立ひきこもり家族会

9 ひきこもり当事者及び家族に対する相談・支援事業

げんき応援コース 助成金額：84,000円

ひきこもりの子どもを抱える家族同士が相談しあえる居場所や家族ができる対応、社会資源の活用などの情報交換の場として、月に1回相談と学びの場を開催。毎回15名前後の参加がありました。また、ひきこもり支援の講演会も開催し、約60名の参加がありました。



特定非営利活動法人 修復的対話の会

10

修復的対話サークルを学校で実践するために 対話の研修会

げんき応援コース 助成金額：100,000円

「お互いを尊重し、地域から誰も排除せず安全なコミュニティを創る」修復的対話を学校関係者に紹介し、学校現場でも活用されることを目指し、対話の研修会を開催しました。講義だけではなく、参加者同士のワークも実施し、コミュニケーションの重要性や修復的対話を通じた心の充実感、人とのつながりの大切さを伝えることができた場となりました。



Code for Adachi

11

足立区の子どもたちのタイピングスキル向上プロジェクト

げんき応援コース 助成金額：99,000円

子どもたちが不自由なくパソコンを活用できることを目的として、タイピングスキル向上プロジェクトを始動。タイピングの大会を開催し、予選には204名の小中学生が参加し、決勝には24名が進出。大会に向けてタイピングの練習に励んだ学生もあり、タイピングスキル向上に寄与することができました。



特定非営利活動法人 たんぽぽ会

12

いきいき月曜サロン

げんき応援コース 助成金額：100,000円

高齢者の社会的孤立を防ぎ、認知症の予防と健康維持を目的にサロンを毎週月曜日に開催。新型コロナウイルスの関係で、2020年より食事はテイクアウト方式で提供しています。リハビリとして通っていただいている方や、そこで顔を合わせることで交流を楽しんでいる方が多く、地域の高齢者の居場所となっています。



ADISC（アディスク）

13 知的障がい者運動支援

げんき応援コース 助成金額：98,000円

運動をする機会が少ない知的障がいを持った方たちへ、サッカーを通して体を動かす機会と場の提供を目的に、月に3回足立区のスポーツセンターや小学校校庭などで運動支援を実施。ストレス発散や運動機能の向上、仲間との交流の場になるだけではなく、保護者同士の情報や悩みを共有する場ともなりました。



特定非営利活動法人 トータルサポートスマイル

14 スマイルサロン

げんき応援コース 助成金額：96,000円

高齢者に外出する楽しみや人と交流する楽しみを提供するために毎月1回サロンを開催。サロンでは脳トレ体操や布小物製作など、毎回内容を変えたワークショップも実施しています。継続して利用する方もおり、地域の高齢者にとって楽しんで参加できる交流の場とすることができました。



やなかパントリー実行委員会

15 フードパントリー やなかパントリー

げんき応援コース 助成金額：90,000円

北綾瀬近隣の生活に困っている家庭を対象に、毎月1回フードパントリー事業を実施。企業や足立区NPO活動支援センターからの食材寄附を活用し、生活困窮世帯に野菜や米などを配布しました。フードパントリーだけでなく、単発で工作教室を行ったり、リサイクルの衣服やおもちゃを置き、持って帰ってもらえるような取り組みなども実施しました。





令和5年度「思いやりヒーロー」 育成青年研修事業

げんき応援コース 助成金額：83,000円

バーチャルフォトウォークとは寝たきりの障がい者・病人にZoomのネットワークを通じて美しい景色を見てもらい、闘病の苦痛・孤独感・疎外感を癒してもらう新時代の社会貢献を目指しています。

イベント参加者はひとときのにぎわいと景色を楽しむことができました。また、プレゼンターとして参加した文教大学生は、視聴者をいたわる画面づくりを立派にやりとげました。



Lee



ベビマで解決～子育て支援講座 あだち『げんき会』～

げんき応援コース 助成金額：68,000円

子育ては社会が共にするもの、子育ての母親は孤独でない、女性にやさしい明るい足立区の印象を拡げられ、初めての子育ての不安を解消し、お母さんや周りの家族が赤ちゃんとのスキンシップを楽しめるようにします。

※荒天のため、当日キャンセルとなり、残念ながら参加者はいませんでした。



NPOヨリミチライフあだちほっとタイムプロジェクト



あだちで親子銭湯

げんき応援コース 助成金額：50,000円

母親の孤立、ワンオペ育児による心身的なストレスや社会からの疎外感が問題視されています。小さな子どもがいると自宅のお風呂でさえもゆっくりつかることができない母親が身近にいることを知り、年々減少傾向にある銭湯施設の普及も兼ねた親子向けの入浴イベントを企画しました。

親子で銭湯文化や入浴マナーに触れつつ、保育士・ボランティアスタッフによる託児、見守りサポートをつけることで、ゆっくりお風呂につかって心身のリフレッシュをしていただくことができました。



あ★だちっこハウス実行委員会

19

多世代の地域の居場所作り「親子の遊び場
あ★だちっこハウス」&「多世代地域食堂
あ★だちっこキッチン」

げんき応援コース 助成金額：73,000円

足立区内での子どもに関わるすべての方々が孤立しない安全な居場所を地域に提供することを、目的とします。

遊びや各種体験を通じて、地域との関わりのきっかけを提供し、必要であれば各関係者につなげます。

小規模でも継続していたおかげで、人間関係の繋がりから相談や参加に至ることもあり、居場所としての機能は果たすことができました。

あだち サークル・響き

20

おしゃべりサロン事業

げんき応援コース 助成金額：77,000円

対面やオンラインにて視覚障がい者、サポーター、その他の分野の方々と交流し、何気ないおしゃべりを楽しむことで孤立を防ぎます。自身の生きる楽しみ・生活の気づきを見出します。

障がいに関わる経験交流、視覚障がいにより得難い生活上の情報、制度の案内、機器の体験談など日頃の生活に生かせる情報の交換・共有をすることができました。

特定非営利活動法人 アンドスプーン

21

親と子の第三の居場所作り事業

げんき応援コース 助成金額：100,000円

地域の方と協力して親子の居場所を作る事で、開催時には地域の方と子育て世代との接点が増え、今まで以上に地域との繋がりを強めます。また、子育て世代同士の出会いの場や親と子どもの良好な関係作りのきっかけになる場として、単発で終わらせず継続的な支援に繋がります。

少しずつ広報や口コミによって登録者が増えSNS総登録者数が1000人を超え、参加者が増える事で参加者同士で繋がる機会も増え、開催日以外にも会う事もあったようで、この場をきっかけにママたちの繋がりの場にすることができました。



あだちスクールバンドサポーターズ



足立区内小中学生向けミニコンサート&楽器体験ワークショップ

げんき応援コース 助成金額：100,000円

音楽や楽器に触れるきっかけをすることで、子どもの情操を養い、ライフワークや生涯学習の機会を提供するため、「足立区内小中学生向けミニコンサート&楽器体験ワークショップ」を実施しました。

部活動の地域移行化に向け、今回のイベントをきっかけに当団体が子ども達の受け皿の一つとなることができました。



特定非営利活動法人 たんぽぽ会



無料学習塾たんぽぽ

げんき応援コース 助成金額：100,000円

貧困の連鎖により、子どもの学習面に大きな影響が出ていることが社会的な問題となっています。こうした状況のなかで、少しでも子どものすこやかな成長を援助することを目的に子どもを対象に無料塾を開始しました。

通い始めた頃は落ち着かず、長い時間は集中できなかった子ども達もいましたが、現在は少しずつ自分の興味のある勉強に集中して取り組むことが出来るようになってきています。ボランティアの大学生とも楽しくお話ししたり関係性を作っていくことが出来るようになりました。



やんちゃーず五反野



障害児フライングディスク普及事業

げんき応援コース 助成金額：100,000円

障がい児フライングディスクは、年齢や性別、障がいの有無に関わらず誰でも楽しめるスポーツです。親子での参加を原則としており、親側の健康維持やストレス発散、子どもと一緒にスポーツができる貴重な機会を提供します。

主にInstagramを使っての周知に移行した効果があり、昨年度より参加人数が増加しました。東京都障害者スポーツ大会へ2年連続出場を果たし、メンバーはそれぞれに練習の成果を発揮することができ、好成績でメダルを獲得した者もいました。



育てよう！いのちの根っこ

25

どう伝える？家庭の中での生命（いのち）の安全教育

げんき応援コース 助成金額：100,000円

保護者への性教育からスタートし、親子向けのいのちの話をする中で、家庭で性の話を伝えやすいきっかけを作ることができました。また3回目に性教育の本を手にとったり、おしゃべり会としてのいのちの話を聞いたあとの子どもの様子などを聞いたり、フォローすることができて、より実践しやすいとのお声をいただきました。また2回目が雨天で来られなかった方のために再度親子で聞きのいのちの話を聞いていただく機会を設け、喜ばれました。

出張キッズスペースmamato

26

託児付きで子育てを応援！安心して子育てができる足立

げんき応援コース 助成金額：89,000円

子育て中は孤独で敏感になりがちであるが、地域に【託児付き】があることで安心して出かけられる環境であることを伝えていきます。切れ目のない子育て支援としてはSNSやラインで繋がることで定期的にアプローチできるようにしていくことができました。利用者の人数は少なかったものの、利用されたお母さま方からは「こんなサービスを待ってた」「お金を払っても利用したいので続けてほしい」など大変好評でした。

キッズサポート

27

地域をつなげる青井フードパントリーの開催

げんき応援コース 助成金額：100,000円

地域の相談支援事業所、保健所などの機関にお知らせ配布したことで地域困窮者に心を寄せる有志者からの紹介なども多くいただくようになりました。また何度も利用して場に慣れてきた利用者からは生活の事、現在の作業所での事等々相談を持ち掛けられることが増えてきました。利用者の数人は引きこもりの生活から作業所へ通う生活へと変化した人もいて、そもそもの目的だった地域の困難者が支援機関とつながる、という効果が出始めました。



28 ペット防災普及啓発事業

課題チャレンジコース 助成金額：209,000円

広く区民全般にペットの災害対策について知ってもらい、ペット防災実施へのきっかけを作り、同時に様々な事情を鑑みた個別相談対応を行いました。飼い主や地域が平時に行っておくべきことを認識し、実情にあわせた具体的な対策を講じ、災害時の混乱や環境悪化等の低減、素早い復興につなげます。ペット防災についてのセミナーを通し、配布冊子や作成したパネルを利用し、平時の備えをお伝えすることができました。



あやせのえんがわ

29 しみじみコーヒースタンド

ステップアップコース 助成金額：561,000円

綾瀬を中心に、住民が気軽に集うことのできる場をつくるため、リヤカーを活用したコーヒースタンドを企画。関係者でリヤカー製作をし、仕上げのワークショップには9名の区民が参加しました。その後、綾瀬で行われた足立区のSDGsイベントに参加し、地域住民の交流の場となりました。今後もリヤカーを活用した出張しみじみコーヒースタンドで、地域交流を図ります。



ショッコラン

30 ショッコランにっこりコンサート

ステップアップコース 助成金額：596,000円

チラシの配布効果（特に駅ラック、区役所、図書館）が高く、お申し込み人数が194名と定員数ギリギリとなりましたが、大雪などで実際の来場者数は138名でした。無料イベントへの無断キャンセルの多さはやはり課題として残りましたが、公演内容は来場者の皆様に大変喜んでいただけました。また、客席配置の工夫への効果もあり、上演中に大泣きする子がいなかったことも振り返ってみて狙いに効果があったと実感しました。



31

「西新井地区における誰でも参加できる ピース食堂」

ステップアップコース 助成金額：514,000円

3年目になり子ども食堂を通年で実施することで知名度が上がった結果、子どもだけで参加する、子ども食堂本来の形が造れました。当日の整理券をとる外出が困難な「障がい者生活支援施設」「障がい児を持つファミリーホーム」等へ「予約枠」を設けることで食事を確実に届けられる支援体制も定着しました。子ども食堂フォーラムでゲスト講演を行った際の参加者がピース食堂のボランティアに参加、実体験を経て自ら新規に足立区に子ども食堂を立ち上げスタートさせる相乗効果が得られました。

特定非営利活動法人 アフォール

32

にしいこう子どもひろばを中心とした 持続可能な運営体制づくり (寄付とプログラムの質向上)

ステップアップコース 助成金額：417,000円

「すべての子どもの自立を応援する」ため、多様な場の運営と、運営体制強化(寄付とプログラムの質向上)により、子どもを応援する人を増やし続けるコミュニティをつくりまします。

今年度は、子どもの自立を促す遊びプログラムを安定的に実施することができるようになり、スタッフのきめ細かい子どもへの接し方が安心感と信頼感を得られるようになってきました。また、大学生による企画の支援体制はさらに充実し、次年度も新しいメンバーによる実施の目途がたちました。明治大学に加えて東京みらい大学からの学生ボランティアも参加がありました。

特定非営利活動法人 Chance for All

33

こどもたちのあそびを見守る パークリーダー事業

ステップアップコース 助成金額：600,000円

パークリーダーがいることで、小さなこども連れの大人が公園でこどもを安全に遊ばせることができるようになりました。たまに公園に来るくらいのこどもが活動が進むにつれ高頻度で参加するようになり、こどもの日常的な公園の利用に繋がりました。公園に来てくれるこどもが学校で本事業についての話をしているということを聞きとることができました。校内でもパークリーダーの存在が認知され始めていることが推察されます。



キッズサポート

34

キッズ夏祭りの開催 及び 地域を巻き込むイベントの開催

ステップアップコース 助成金額：258,000円

本来の目的、「地域の大人と子どもがつながるイベント」というところに皆が向いて運営し、イベント本開催の会場での盛りあがり以外に、地域のお店とのやり取りやイベントの参加者がお店に関わるキッカケを上手く提供できたと感じました。また、普段知っているようで気付いていない町の商店の周知にもなりました。大人が準備して運営するイベントと違い学生・子どもたちが自らお客さんと呼ぶために創意工夫をしながら盛りあげ、また自らがみんなで楽しむ目線で運営された様子は地域の方々から「頑張って!応援してるよ!」との声援を引出していました。

足立区女性団体連合会

35

国際女性デー MIMOSA PROJECT 2024 私たちは強く、美しい

協働・協創推進コース 助成金額：373,000円

区民に男女共同参画の必要性和現状について理解を促すとともに、女性をエンパワメント(力づける)し、ジェンダー平等社会の実現を目指します。ミモザ展、ミモザフェスでは、今まで活動実績のないエリアで実施したことにより、町会の方が連れ立って来場してくれるなど団体の知名度及び男女共同参画への理解度を高めることができました。





まごころの寄附で、
地域貢献活動を支えること
ができました。
ありがとうございました。